

令和6年10月5日

郵便番号 7 4 0 - 0 0 2 1

氏 名 一般社団法人 岩国市医師会

(電話 (0827) 2 1 局 6 1 3 5 番)

記

名 称	一般社団法人 岩国市医師会 岩国市医療センター医師会病院												
所 在 地	山口県岩国市室の木3丁目6番地12号												
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計		
	75 室	181 床	室	床	室	床	室	床	室	床	75 室	181 床	
地域医療 支援病院 の法定施 設	区 分			構 造 設 備 の 概 要									
	集 中 治 療 室			主な設備		別添1参照		病床数 5床					
	化 学 検 査 室			主な設備		別添2参照							
	細 菌 検 査 室			主な設備		別添3参照							
	病 理 検 査 室			主な設備		別添4参照							
	病 理 解 剖 室			主な設備		解剖台		新興計器		1台			
	研 究 室			主な設備		シャーカステン		1台					
						システム顕微鏡		1台					
						システム顕微鏡撮影装置		1台					
						コンピューター		1台					
	講 義 室			室数		1室		収容定員		120人			
	図 書 室			室数		1室		蔵書数		2,500冊			
救急用又は患者 輸送用自動車			主な設備		ストレッチャー他		保有台数		1台				
医薬品情報管理 室			専用室の場合		床面積		6.8m ²						
			共用室の場合		室と共用								

(第2面)

紹介患者 に対する 医療提供 等	初診患者数 ①	紹介患者数 ②	逆紹介患者数 ハ	地域医療支援 病院紹介率 $\frac{\text{ロ}}{\text{イ}} \times 100$	地域医療支援 病院逆紹介率 $\frac{\text{ハ}}{\text{イ}} \times 100$	
	3,746 人	2,723 人	3,858 人	72.6%	102.9%	
	算定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月 31日まで				
共同利用	共同利用の実績		MR I 1,614 件 CT 280 件			
	共同利用の範囲		化学検査室、細菌検査室、病理検査室、病理解剖室、 生理機能検査室、放射線科検査室 (MRI、CT、X線、 乳房撮影、透視、血管造影)、内視鏡検査室、手術室 2室、集中治療室5床、病床176床			
	共同利用について 定めた規程の有無		③ ・ 無			
	利用医師等登録制 度の担当者		職種	事務職員		
			氏名	津川 智一		
	登 録 医 療 機 関	名 称	開設者の氏 名又は名称	開設者の 住所又は 所在地	主たる 診療科 目	報告者との 経営上の 関係
		別添8				
	常時共同利用可能な病床数			181床		

(第3面)

救急医療 の提供	重症救急 患者の受 入れに対 応した医 療従事者	職種	氏 名	勤 務 の 態 様		勤務時 間	備 考
		医師	貴船雅夫	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	福田雅通	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	清水元晴	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	茶川治樹	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	熊野健一	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	藤野 修	常勤・非常勤	専従・非専従	36 時間	
		医師	長溝大輔	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	川口憲二	常勤・非常勤	専従・非専従	32 時間	
		医師	中藤嘉人	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	田中一成	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	木村一紀	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		医師	末廣眞一	常勤・非常勤	専従・非専従	40 時間	
		重症救急 患者のた めの病床	優 先 的 に 使 用 し た 病 床			15 床	
	専 用 病 床			15 床			
	重症救急 患者に必 要な検査 又は治療 を行った 診療施設	区 分	床面積	設備の概要		24 時間使 用の可 否	
		集中治療室	75 m ²	別添1 参照		可	
		化学検査室	140 m ²	別添2 参照		可	
		細菌検査室	29 m ²	別添3 参照		可	
		病理検査室	30 m ²	別添4 参照		可	
		手術室	111 m ²	別添5 参照		可	
		救急処置室	40 m ²	別添6 参照		可	
		放射線科検査室	255 m ²	別添7 参照		可	
	重症救急患者を 24 時間体制で受 け入れた診療科目			内科・外科・整形外科・小児科			
	救急病院の認定状況及び救急医 療の実施状況			救急病院等を定める省令（昭和39 年厚生省令第8号）に基づき都道府県 知事の救急病院の認定済み			
	救急医療 の提供の 実績	救急用又は患者輸送用自動車 により搬入した救急患者の数		844 人 （うち入院を要した患者の数 393 人）			
		そ の 他 の 救 急 患 者 の 数		5,858 人 （うち入院を要した患者の数 49 人）			
		計		6,702 人 （うち入院を要した患者の数 442 人）			

(第4面)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修	研 修 内 容		新人看護職員研修 岩国圏域の医療・介護関係者の交流会 オープンセミナー			
	研修実施回数		17回			
	研修生の数		257人			
	研修プログラムの有無		○有 ・ 無			
	研修委員会の設置の有無		○有 ・ 無			
	研修指導者	氏 名	職 種	診 療 科 目	役 職 等	臨 床 経 験 年 数
		(教育責任者) 茶川 治樹	医師	リハビリ科	院 長	46年
		(その他) 貴船 雅夫	医師	整形外科	副院長	37年
		福田 雅通	医師	小児科	副院長	36年
		清水 元晴	医師	整形外科	部長	29年
		熊野 健一	医師	麻酔科	部長	28年
		藤野 修	医師	腎臓内科	部長	11年
		中藤 嘉人	医師	内科	部長	27年
		長溝 大輔	医師	麻酔科	部長	22年
		川口 憲二	医師	消化器内科	部長	50年
		木村 一紀	医師	内科	部長	11年
		末廣 真一	医師	外科	部長	42年
研修を実施した施設	研修を実施した施設	区 分	床 面 積	設 備 の 概 要		
		講堂	277m ²	プロジェクター、マイク、ホワイトボード		
		会議室・研修室	80m ²	プロジェクター、ホワイトボード		

(第5面)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	管理担当者の氏名	責 任 者	茶川 治樹		
		その他の担当者	津川 智一		
	診療に関する諸記録(病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)		保 管 場 所	分 類 方 法	
			電子カルテ 医事課	患者番号順	
	病院の管理及び運営に関する諸記録	区 分		保 管 場 所	
		共 同 利 用 の 実 績		医療連携室 医事課	
		救 急 医 療 の 提 供 の 実 績		医事課	
		地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		総務課	
閲 覧 実 績		なし			
		紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類		医療連携室 医事課 地域医療連携センターかけ橋	
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	閲覧担当者の氏名	責 任 者	茶川 治樹		
		その他の担当者	津川 智一		
	閲 覧 場 所	診療室、各ナースステーション、医療連携室、医事課			
	閲 覧 手 続	診療室、各ナースステーション、医療連携室、医事課において閲覧ノートに必要事項を 記入する。			
	閲 覧 件 数	医 師	0 件		
		歯 科 医 師	0 件		
		地 方 公 共 団 体	0 件		
		そ の 他	0 件		
計		0 件			
医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催	開 催 回 数	4 回			
	委員会における議論の概要	医師会病院の実績報告 地域別受診延患者数報告、救急センターの実績報告 訪問診療・往診・訪問リハビリ・訪問看護実績 療育センター実績 地域医療支援病院への要望について			

(第 6 面)

患者相談	患者相談を行う場所		相 談 室
	主 な 担 当 者		茶川治樹、小澤伸枝、田村純子 他
	相 談 件 数		1,058 件
	相 談 の 概 要		介護保険を含む各種手続きに関すること 退院後の転院先、療養先に関すること 診療内容について（治療方針等）
その他の 地域医療 支援病院 に求めら れる取組	病院の機 能に関す る評価	評 価 の 有 無	⑦ ・ 無
		評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療機能評価機構
		評 価 を 受 け た 時 期	平成 27 年
	病院の果 たしてい る役割に 関する情 報発信	情 報 発 信 の 有 無	⑦ ・ 無
		情報発信の方法及び内容	病院だより・ホームページにおいて、病院の機能紹介。市民向け救急講座案内等
	退院調整	退 院 調 整 部 門 の 有 無	⑦ ・ 無
		退 院 調 整 の 概 要	在宅への退院に向けてケアマネージャーとサービス調整。 退院が難しい場合、転院に向けて病院・施設と調整
	地域連携 の促進	地域連携クリティカルパスの策定の有無	⑦ ・ 無
		地域連携クリティカルパスの種類及び内容	大腿骨脛部骨折・脳卒中連携パス
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組の概要		連携する病院と地域連携パスに関する検討会を行っている。 (3 回/年)	

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 とする。